

青森県における縄文時代の木質遺物の樹種一覧

杉野森淳子¹⁾

List of Species of Wood Artifacts at the Jomon Period Settlements in Aomori Prefecture.

Junko SUGINOMORI

キーワード 青森県、縄文時代、木質遺物、木製品、樹種

はじめに

1980年代以降、縄文時代の低湿地遺跡の発掘調査の増加により、全国的に木製品や編組製品などの木質遺物の出土例が増えてきており、遺物の材質や構造・製作方法の研究が進展してきている。また、遺跡出土の自然木の樹種同定や花粉分析・種子同定等により遺跡周辺の植生環境も解明されている。これらのことから、樹木・草木類などの植物を利用した道具が、土器や石器とともに縄文人の生活に大きく関わっていたことがわかってきている。

青森県内においても遺跡低湿地部の発掘調査が増加し、現在では縄文時代の木質遺物が20遺跡以上で出土している。なかでも、前期の青森市岩渡小谷(4)遺跡や青森市三内丸山遺跡、晩期の八戸市是川中居遺跡では多数出土している。そこで本稿では、これまでの県内の縄文時代の木質遺物の種類と樹種を集成し、今後の研究の基礎資料としたい。

1. 木質遺物の樹種一覧

本一覧の木質遺物の種類・出土点数・樹種は、各報告書の記載内容を基に作成し、後期と晩期の一部は『青森県史資料編 考古2』「第Ⅲ部—第2章—第5節 植物性遺物」（県史編さん考古部会 2013）の記載を参考にしている。また、分類名は『木の考古学』（伊東・山田編 2012）に基づいている。（註1）

樹種は、出土点数の多い順に列挙した。樹種名右側の数字は点数を表す。なお、1点の場合は数字を省略し樹種名のみとした。

2. 木質遺物の樹種の利用傾向

木製品・編組製品などの木質遺物は、縄文時代前期中葉にはすでに各種のものが作られており、後期まではとくに大きな違いはなく、容器など実用的なものが中心である。しかし、晩期になると、実用的なものに加え、漆器や装飾品類（櫛・腕輪・首飾りなど）が増え、しかも土坑墓からの出土例が大半を占めるようになる。

利用されている樹種は約60種に及んでいる。東日本の傾向として、前期にはクリを中心に多様な樹種が利用され、中期にはクリの占める割合が高くなるが、後期・晩期になると、クリとトチノキが主体となる。これまでの研究から、縄文人は木の特性を知り、道具の種類にあった特性をもつ樹種を選択していることが明らかとなっている（伊藤・山田編 2012）。

青森県内で使用された樹種の傾向も同様であり、前期と中期にはクリを主体に、後期以降はトチノキが盛んに利用されている。このなかでここでは、とくにアスナロ・トチノキ・ウルシの利用について述べる。

トチノキは中期から後期のはじめには、クリにとって代わる主要な樹種としてとらえられている。後期以降、主に木製容器や施設の部材を中心に用いられているが、三内丸山遺跡の北の谷地区から割材8点と自然木が出土していることから、利用の開始は前期中葉に遡るとみられる。ウルシは主に樹液が塗料として使われ、晩期には容器などの生活道具のほか、装身具や祭祀具などにも塗布されるようになる。岩渡小谷(4)遺跡と是川中居遺跡では、容器や施設の部材に使用されている。ウルシは樹液だけではなく、樹木自体も前期から利用されている。

アスナロは、三内丸山遺跡ではクリに次いで主要な樹種であり、主に棒状の製品や加工材に使われている。前期・中期の他の遺跡においても、アスナロは利用されているが、一遺跡10点以下と少ない。針葉樹であるアスナロは、縄文時代に入り温暖になると生育域が台地から山地へと移っていくが、三内丸山遺跡では種実や花粉の分析から、谷から台地への斜面上位か台地に生育していたことが想定されている（能城・鈴木 2015）。

1) 青森県立郷土館 主任学芸主査（〒038-0802 青森市本町二丁目 8-14）

表1 木質遺物出土点数と樹種内訳（縄文時代前期・中期）－（1）

分類	種類 遺跡名 時期/場所	1 青森市岩渡小谷(4) 前期中葉 / 沢		2 野辺地町向田(18) 前期末 / 沢		3 青森市三内丸山 前期中頃 / 第6鉄塔地区	
		容器	皿 脚付皿 皿未製品 鉢 鉢未製品 椀 槽 片口状容器 その他	2	ウルシ2		
木胎漆器	台付皿（赤漆塗） 皿（赤漆塗） 皿（黒漆塗） 鉢（黒漆塗） 鉢（赤漆塗） 突起付鉢（赤漆塗） 鉢（漆塗） その他（黒漆塗） その他（赤漆塗） その他（漆塗） 把手破片（赤漆塗） 容器突起部破片（漆器）	4	ケンボナシ3、カエテ1	2	カツラ属、コナラ節	1	ケンボナシ
工具	杓子形・籠状 石斧の柄 石斧の柄未製品 櫛状木製品 敲き具	3	ケヤキ2、ニレ属1	2	トネリコ属、コナラ節		
農耕土木具	掘り棒	22	コナラ節16、ケンボナシ属3、アスナロ属2、オニグルミ	1	コナラ		
狩猟具	弓（漆塗） 弓						
漁労具	ヤス						
運搬具	丸木舟 櫂 かんじき	6	コナラ節5、オニグルミ	1	ハリギリ	1	コナラ節
装身具	櫛（漆塗） 耳飾（漆塗） 腕輪（漆塗） 紐状漆製品 赤色紐状製品 リング状漆製品 带状赤色装身具 赤色遺物 装身具（漆塗）						
祭祀用具	飾り太刀 飾り太刀（漆塗） 籠状木製品						
建築部材	その他・不明 柱 梁			1	フナ属		
施設材（木組構成部材）	杭 板材 加工材	40	クリ19、コナラ節6、キハダ4、オニグルミ2、ケンボナシ属2、カエテ属2、ハンナキ属、ウルシ、イヌエンシユ属、不明2				
施設材	杭 板材 加工材	29	クリ16、キハダ6、ウルシ3、オニグルミ2、ニレ属2			4	カエテ属、トネリコ属
部材	板/板材	21	クリ13、コナラ節3、ケンボナシ属2、オニグルミ、ニレ属、ミスギ属			16	クリ3、アスナロ3、クリ2、オニグルミ、カエテ属、ケンボナシ属、コナラ節、トネリコ属、ニレ属、ヤマウルシ、ヤマクワ

表1 木質遺物出土点数と樹種内訳（縄文時代前期・中期）－（2）

分類	種類 遺跡名 時期/場所	1 青森市岩渡小谷(4)		2 野辺地町向田(18)		3 青森市三内丸山		
		前期中葉 / 沢		前期末 / 沢		前期中頃 / 第6鉄塔地区		
用途不明品	板状木製品	1	オウゴンミ			16	アスナロ7、クリ3、タラシ	
	棒状木製品			1	アジサイ属	67	アスナロ35、クリ9、リウウキ3、ニガキ3、カエデ属2、キハダ2、ニレ属、トネリコ属、エコノキ属、オウゴンミ、タラシ	
	へら状木製品					2	アスナロ2	
	薄板状木製品	2	アスナロ属2					
	しゃもじ形木製品	2	キハダ、クリ					
	箸状木製品	2	アスナロ属2					
	舟形木製品	8	ウルシ2、クリ2、コシアブラ、ハリギリ、キリ					
	種状木製品（琴か）	1	モクレン属					
	鳥形木製品	1	ケヤキ					
	柄付木製品	4	サクラ属、ケノボナシ属、ニシキギ属					
	挟り付木製品	2	ウルシ					
	叩き具？			1	コナラ節			
	コマ状			1	広葉樹			
	タモ状			1	エノキ			
	握付棒			1	不明			
	刀子状木製品						1	
漆塗						2		
その他						11	アスナロ3、クリ、カエデ属、トネリコ属、フトウ属、ヤマクワ、タラシ	
円形木製品								
加工材	加工材として一括			28		148	クリ71、アスナロ13、トネリコ属12、カエデ属10、ヤマクワ6、コナラ節5、ニガキ5、オウゴンミ4、ニレ属3、キハダ3、ガマズミ属2、ヤマウルシ2、エコノキ属、カツラ、キリ、ケノボナシ属、サクラ属、ニトコ、リウウキ、ハリギリ、ハンノキ節、マタヒ属、モクレン属、笹	
	角材	8	クリ3、オウゴンミ2、キハダ、コナラ節、不明					
	分割材	60	クリ38、コナラ節5、キハダ5、ニレ属4、タラシ2、ミズキ属2、ガマズミ属、オウゴンミ、ケノボナシ属、サクラ属					
	割材（縦目材）							
	割材（板目材）							
	割材（半割材）							
	割材（みかん割材）							
	割材（芯去材）							
	割材（芯持材）	1	ウルシ					
	割材						79	クリ24、コナラ節9、カエデ属9、ニレ属8、ヤマクワ7、トネリコ属4、モクレン属3、キハダ3、ニガキ3、アスナロ2、オウゴンミ2、イヌガヤ、ハンノキ節、カツラ、ケノボナシ属、エコノキ属
	丸木材	8	クリ3、コナラ節2、オウゴンミ、イヌエンシユ、キハダ					
	杭状先端加工（角材）	12	クリ9、オウゴンミ、コナラ節、ケノボナシ属					
	杭状先端加工（分割材）	71	クリ54、コナラ節3、ニガキ3、カエデ属2、オウゴンミ2、キハダ、ケノボナシ属、トネリコ属、ミズキ、アスナロ、エノキ属、ヤマクワ					
	杭状先端加工（芯持材）	10	クリ4、オウゴンミ2、イヌエンシユ2、タラシ、コナラ節					
	棒状加工（分割材）	9	クリ5、ケノボナシ属、コナラ節、リウウキ、単子葉					
	先端加工材							
	削出割材片（分割材）	3	アスナロ3					
	両端切断（芯持材）	7	クリ4、アスナロ、ニレ属					
両端加工材								
端部切断（芯持丸木材）								
用途不明加工材（分割材）	6	クリ3、サクラ属2、カエデ属						
用途不明加工材（芯持材）	1	ウルシ						
編組製品	籠					1	ヒノキ科	
	藍胎漆器							
	樹皮製容器（漆塗）							
	環状蔓製品					1	ムラサキシキブ	
	編物	1				4		
	編布							
	組紐					2		
	縄					2		
	繊維製品							
	樹皮	18	サクラ					
	赤色漆塗樹皮							
	蔓植物を枝に巻いたもの	1						
その他								
素材巻き（漆塗）								
遺跡毎の出土点数		459		51		359		

表2 木質遺物出土点数と樹種内訳（縄文時代後期・晩期）－（1）

分類	種類 遺跡名 場所 時期	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
		青森市 三内丸山(6) 沢 後期前葉	八戸市 風張(1) 住居跡 後期中葉	青森市 新城平岡(2) 沢 後期前葉	八戸市 是川中居 沢ほか 晩期前・中葉	つがる市 亀ヶ岡 湿地、土坑 晩期前葉	板柳町 土井(1) 湿地 晩期	平川市 石郷(4) 泥炭層 晩期	平川市 八幡崎(1) 泥炭層 晩期	六ヶ所村 上尾駁(1) 土坑 晩期	青森市 朝日山(2) 土坑 晩期	青森市 平野 土坑 晩期前半	青森市 源常平 土坑 晩期
容器	皿				1 トチノキ								
	脚付皿				1 トネコ属								
	皿未製品				1 トチノキ								
	鉢				1 トチノキ								
	鉢未製品												
	椀	2											
	槽 片口状容器 その他								2				
木胎漆器	台付皿（赤漆塗）				2 トチノキ2								
	皿（赤漆塗）				2 トチノキ2								
	皿（黒漆塗）												
	鉢（黒漆塗）												
	鉢（赤漆塗）				4 トチノキ4								
	突起付鉢（赤漆塗）												
	鉢（漆塗）			2	サカ属、不明								
	その他（黒漆塗）												
	その他（赤漆塗）												
	その他（漆塗）		1 *		9 トチノキ7								1 *
把手破片（赤漆塗）													
容器突起部破片（漆器）													
工具	杓子形・籠状												
	石斧の柄				5								
	石斧の柄未製品	1			コナラ節								
	籠状木製品												
農耕土木具	掘り棒	1			6								
	敲き具												
狩猟具	弓（漆塗）				17								
	弓				1								
漁労具	ヤス				6								
運搬具	丸木舟												
	漕												
装身具	かんじき				1								
	櫛（漆塗）				7		3	5	1	4	2 *	1 *	
	耳飾（漆塗）				5							1 *	
	腕輪（漆塗）				14			1		2			
	紐状漆製品											22	
	赤色紐状製品											5	7 *
	リング状漆製品				2								
带状赤色装身具									2				
赤色遺物												20 *	
装身具（漆塗）				2		1							
祭祀用具	飾り太刀				2								
	飾り太刀（漆塗）				2								
	籠状木製品				19		1						
建築部材	その他・不明	10			クリ17、アスナロ2	8			2	3			
	柱				13								
施設材 （木組 構成部 材）	梁				13								
	杭				クリ3、ヒョウタンボク類2								
	板材				20								
施設材	加工材				クリ6、トチノキ4、オニグルミ2、ケノボク類2、ニレ属2、コナラ節、ヤマグリ、クマノミズキ類								
	杭	4			7		1			8			
部材	板材												
	加工材												
部材	板/板材	4			クリ3、ニレ属1								
部材	板/板材				57								

青森県における縄文時代の木質遺物の樹種一覧

表2 木質遺物出土点数と樹種内訳（縄文時代後期・晩期）－（2）

分類	種類 遺跡名 場所 時期	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
		青森市 三内丸山(6)	八戸市 風張(1)	青森市 新城平岡(2)	八戸市 是川中居	つがる市 亀ヶ岡	板柳町 土井(1)	平川市 石郷(4)	平川市 八幡崎(1)	六ヶ所村 上尾駁(1)	青森市 朝日山(2)	青森市 平野	青森市 土坑	青森市 源常平
		沢 後期前葉	住居跡 後期中葉	沢 後期前葉	沢ほか 晩期前・中葉	湿地、土坑 晩期前葉	湿地 晩期	泥炭層 晩期	泥炭層 晩期	土坑 晩期	土坑 晩期	土坑 晩期前半	土坑 晩期	
用途不明 品	板状木製品													
	棒状木製品				1									
	へら状木製品													
	薄板状木製品													
	しゃもじ形木製品													
	箸状木製品													
	舟形木製品													
	桶状木製品(琴か)													
	鳥形木製品													
	柄付木製品													
	挟り付木製品				1									
	叩き具?													
	コマ状													
	タモ状													
握付棒	2	カエデ ⁺ 属、ク ンボ ⁺ ナシ属				1	アスナ ⁺ 属							
刀子状木製品														
漆塗														
その他				3	クリ2、アサダ ⁺									
円形木製品	2	クリ												
小型桶状木製品				4	スギ ⁺ 3、アスナ ⁺ 1									
加工材	加工材として一括				8									
	角材	6	クリ5、オク ⁺ ルミ		18	クリ10、オク ⁺ ルミ4、カエデ ⁺ 属 2、ヤチダ ⁺ モ類、トチノキ								
	分割材	13	クリ9、トネコ 属、ニレ属、 オク ⁺ ルミ、ノ リウツギ		1	クリ								
	割材(柱目材)													
	割材(板目材)													
	割材(半割材)				33	クリ10、カエデ ⁺ 属4、オク ⁺ ルミ 3、ニガ ⁺ キ3、コナラ節2、ヒョウタ ンボ ⁺ ク類2、トチノキ2、モクレン 属、ヤチノ ⁺ 節、クマノ ⁺ 節、ハン ノ ⁺ 節、ムナサキシヤ ⁺ 属、クマノ ミズ ⁺ キ類、ニシキ ⁺ 属								
	割材(みかん割材)				33	クリ22、ヒョウタンボ ⁺ ク類3、オ ク ⁺ ルミ3、トチノキ、ウレシ、ハシハ ミ属、ヤチ ⁺ 、モクレン属								
	割材(芯去材)													
	割材(芯持材)													
	割材				30	クリ18、カエデ ⁺ 属3、オク ⁺ ルミ 2、トネコ属、ヤマ ⁺ グ ⁺ リ、ツルウメ モ ⁺ ト ⁺ キ、エノキ属、ハンノ ⁺ 節、ニ レ属、ヤチ ⁺ 属								
	丸木材													
	杭状先端加工(角材)													
	杭状先端加工(分割材)													
	杭状先端加工(芯持材)													
	棒状加工(分割材)													
	先端加工材				51	クリ20、オク ⁺ ルミ6、トチノキ3、 ヤチ ⁺ 2、ヒョウタンボ ⁺ ク類2、カエ デ ⁺ 属2、ニレ属2、ミズ ⁺ キ2、ハ ンノ ⁺ 節2、ニガ ⁺ キ2、モクレン属 2、ヤマ ⁺ グ ⁺ リ属、ナシ亜科、マ タビ ⁺ 属、ヤチダ ⁺ モ類、ヤマ ⁺ グ ⁺ リ								
	削出割材片(分割材)													
両端切断(芯持材)														
両端加工材				5	クリ2、ハリキ ⁺ リ2、クマノミズ ⁺ キ 類									
端部切断(芯持丸木材)														
用途不明加工材(分割材)														
用途不明加工材(芯持材)														
編組製品	籠				2	イ科								
	藍胎漆器				10	ノリウツギ ⁺ 、トチノキ	10	6	竹笹 類2	2		2*		
	樹皮製容器(漆塗)				3	ヤチ ⁺ 3					8			
	環状蔓製品				1									
	編物				2	イ科、ヤチ ⁺		1						
	編布				2									
	組紐													
	縄				2		1							
	繊維製品				6			1	イラクサ 科					
	樹皮				10	ヤチ ⁺ 3	2							
	赤色漆塗樹皮													
	蔓植物を枝に巻いたもの				1	マタビ ⁺ 属								
その他				7		1		1						
素材巻き (漆塗)														
遺跡毎の出土点数	45	1	2	475		29	14	3	22	4	37	29	1	

*印は木質部の残存が少ないもの、塗膜のみ残存しているものであり、樹種同定ができない資料。

おわりに

今回はデータの集成にとどめざるをえなかったが、今後はデータの内容と集成方法を精査したうえで、あらためて県内の木質遺物についてまとめてみたい。

(註1) 表は、佐藤真弓氏(青森県教育庁文化財保護課三内丸山遺跡保存活用推進室)が作成した『木の考古学』付編収録の青森県の木質遺物データベースも参考にしている。

引用・参考文献(本文)

- 伊東隆夫・山田昌久編 2012 『木の考古学 出土木製品用材データベース』海青社
 尾関清子 2012 『縄文の布—日本列島布文化の起源と特質—』雄山閣
 青森県史編さん考古部会 2013 『青森県史 資料編 考古2 縄文後期・晩期』青森県
 能城修一・鈴木三男 2015 「第10節—6—(4)北の谷地区から出土した木材の樹種」『三内丸山遺跡42』青森県埋蔵文化財調査報告書第557集, 121—133p

引用・参考文献(表)

以下の1～22の文献の番号は表中の遺跡番号である。

1. 青森県埋蔵文化財調査センター 2004 『岩渡小谷(4)遺跡II』青森県埋蔵文化財調査報告書第371集
2. 野辺地町教育委員会 2003 『向田(18)遺跡』野辺地町文化財調査報告書第14集
3. 青森県教育委員会 1998 『三内丸山遺跡IX』青森県埋蔵文化財調査報告書第249集
4. 青森県教育委員会 2015 『三内丸山遺跡42』青森県埋蔵文化財調査報告書第557集
5. 青森県埋蔵文化財調査センター 2010 『山田(4)遺跡』青森県埋蔵文化財調査報告書第484集
6. 青森県埋蔵文化財調査センター 2006 『近野遺跡IX』青森県埋蔵文化財調査報告書第418集
 青森県埋蔵文化財調査センター 2007 『近野遺跡X』青森県埋蔵文化財調査報告書第432集
7. 青森県埋蔵文化財調査センター 2010 『中居林遺跡III』青森県埋蔵文化財調査報告書第485集
- 8・11. 青森県埋蔵文化財調査センター 2002 『三内丸山(6)遺跡IV』青森県埋蔵文化財調査報告書第327集
9. 青森県埋蔵文化財調査センター 2011 『坂元(1)遺跡・坂元(2)遺跡II』青森県埋蔵文化財調査報告書第505集
10. 八戸市教育委員会 1997 『八戸市内遺跡発掘調査報告書8』八戸市埋蔵文化財調査報告書第65集
12. 八戸市教育委員会 2003 『風張(1)遺跡V(第1分冊)』八戸市埋蔵文化財調査報告書第97集
13. 青森市教育委員会 2012 『石江遺跡群発掘調査報告書V(第3分冊)』青森市埋蔵文化財調査報告書第112集-3
14. 八戸市教育委員会 2002 『八戸市内遺跡発掘調査報告書15 是川中居遺跡1』八戸市埋蔵文化財調査報告書第91集
 八戸市教育委員会 2005 『八戸市内遺跡発掘調査報告書20 是川中居遺跡4』八戸市埋蔵文化財調査報告書第107集
 八戸市教育委員会 2011 『縄文の美 是川中居遺跡出土品図録～平成の出土品～』
 八戸市教育委員会 2012 『史跡是川石器時代遺跡発掘調査報告書』八戸市埋蔵文化財調査報告書第135集
 八戸遺跡調査会 2002 『是川中居遺跡 長田沢地区』八戸遺跡調査会埋蔵文化財調査報告書第2集
 能城修一・鈴木三男・小川とみ・福土明日香 2007 「是川遺跡から出土した木製品と自然木の樹種」『是川遺跡ジャパンロード「漆の道」報告書』是川遺跡ジャパンロード調査実行委員会
15. 三田史学会 1959 『亀ヶ岡遺蹟—青森県亀ヶ岡低湿地遺蹟の研究—』有隣堂出版
 青森県立郷土館 1984 『亀ヶ岡石器時代遺蹟』青森県立郷土館調査報告第17集・考古—6
16. 板柳町教育委員会 1993 『土井I号遺跡』
 片岡太郎・上條信彦編 2014 『亀ヶ岡文化の漆工芸I 青森県板柳町土井(1)遺跡漆製品の自然科学・保存科学的研究』弘前大学人文学部 北日本考古学研究センター
17. 平賀町教育委員会 1977 『石郷遺跡』平賀町埋蔵文化財報告書第6集
18. 尾上町教育委員会 1979 『青森県尾上町八幡崎・李平遺跡埋蔵文化財発掘調査報告書』
19. 青森県教育委員会 1988 『上尾駱(1)遺跡C地区』青森県埋蔵文化財調査報告書第113集
20. 青森県埋蔵文化財調査センター 2003 『朝日山(2)遺跡VII』青森県埋蔵文化財調査報告書第350集
 青森県埋蔵文化財調査センター 2004 『朝日山(2)遺跡VIII』青森県埋蔵文化財調査報告書第368集
 青森県埋蔵文化財調査センター 2004 『朝日山(2)遺跡IX』青森県埋蔵文化財調査報告書第369集
21. 浪岡町教育委員会 2002 「平野遺跡発掘調査報告書」『平成13年度 浪岡町文化財紀要II』
22. 青森県教育委員会 1978 『源常平遺跡発掘調査報告書』青森県埋蔵文化財調査報告書第39集